

**テレビ番組の録画に関する
マーケティングデータ
～録画番組視聴時の行動篇～**

朝日大学マーケティング研究所

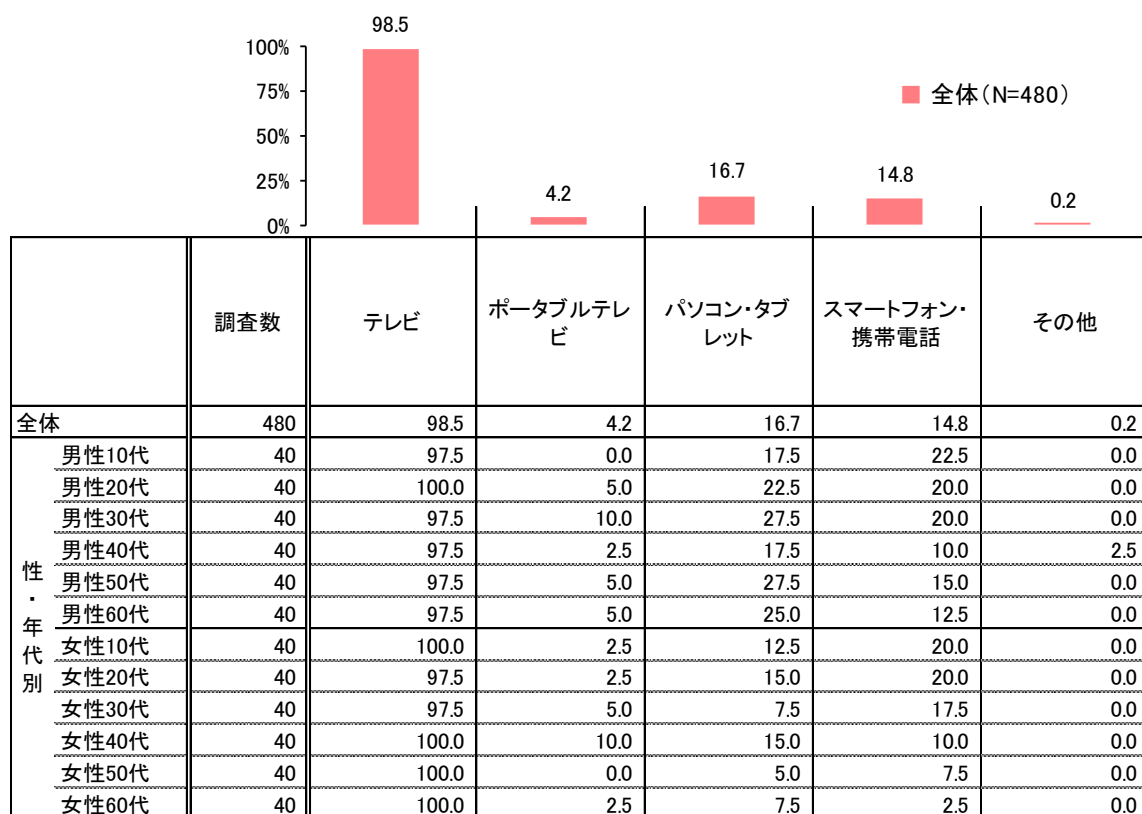
調査概要

- 調査方法 Webアンケート
- 調査期間 2016年7月29日(金)～8月8日(月)
- 調査対象 首都圏在住の13歳～69歳男女で、かつ、自宅でテレビ番組を観ている人
- 有効回答 合計480名(均等割付)

年代	男性	女性
13～19歳	40名	40名
20～29歳	40名	40名
30～39歳	40名	40名
40～49歳	40名	40名
50～59歳	40名	40名
60～69歳	40名	40名
合計	240名	240名

※内、最近3ヶ月以内にテレビ番組の録画をした人371名

自宅でテレビ番組を観る際、どのような機器を利用しているか

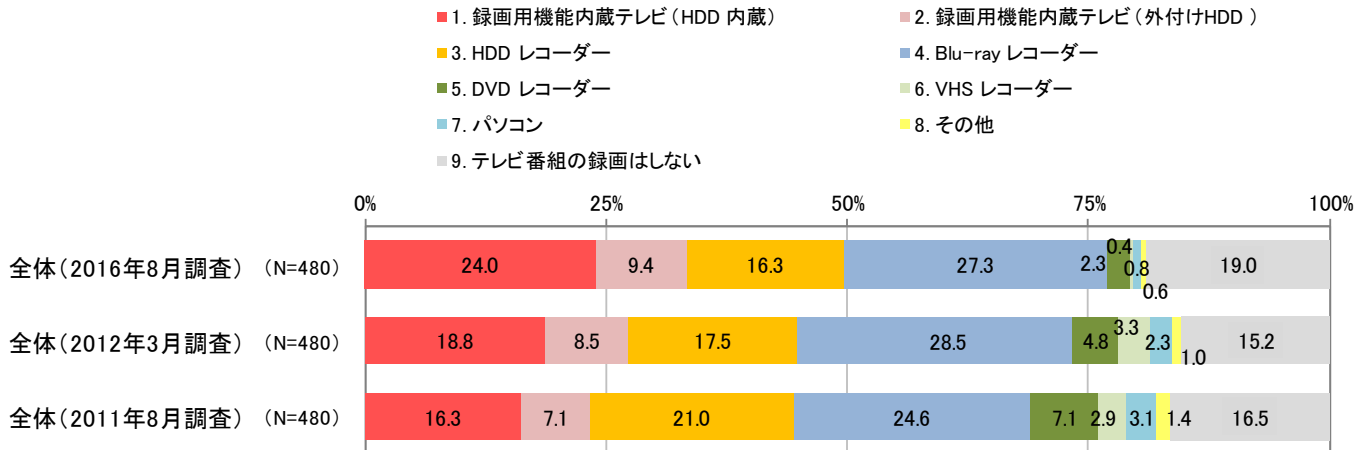


1. テレビ番組の録画に使用している機器、最近3ヶ月のテレビ番組録画頻度

録画に使用している機器、「録画機能内蔵テレビ(HDD内蔵)」が継続的に増え、24.0%に。

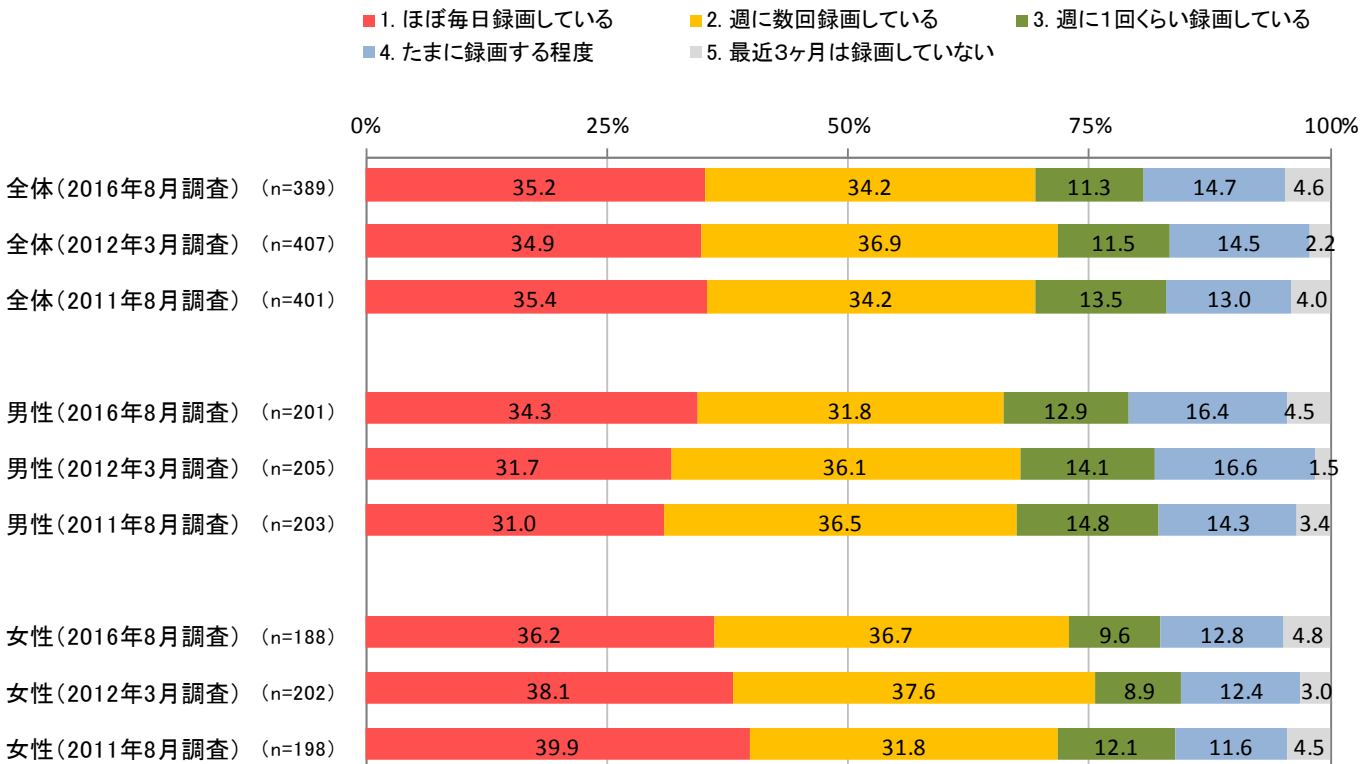
■「テレビ番組を録画するのに主に利用している機器」は、2011年8月調査と比較して、「録画機能内蔵テレビ(HDD内蔵)」が16.3%→18.8%→24.0%に、「録画機能内蔵テレビ(外付けHDD)」が7.1%→8.5%→9.4%に増えた。これらを合わせると、現在、テレビを観ている人の3分の1は録画機能付きテレビを主に使用してテレビ番組の録画を行っている。
 ■一方、「HDDレコーダー」は21.0%→17.5%→16.3%と減っている。また、「DVDレコーダー」「VHSレコーダー」「パソコン」「その他」は合わせて5%未満にまで減少した。
 ■録画頻度は、全体では過去調査と比較してほぼ変わっていない。

テレビ番組を録画するのに主に利用している機器



最近3ヶ月間のテレビ番組の録画頻度

※テレビ番組の録画をする人のみ



2. 自宅でテレビを観ている時間帯(リアルタイム視聴・録画番組視聴別)

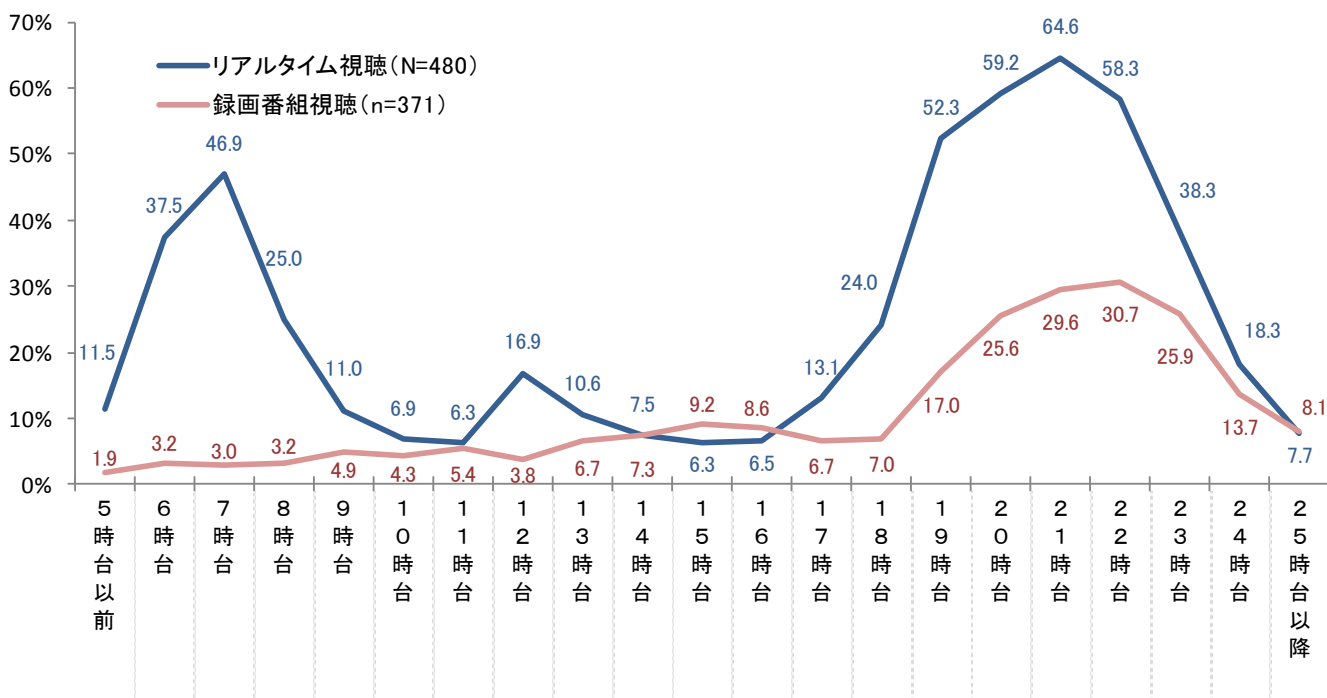
休日14時台～16時台に存在する、「録画番組のゴールデンタイム」。

■自宅でテレビを観ている時間帯をリアルタイム視聴か録画番組視聴かにわけて訊いたところ、平日のリアルタイム視聴では、朝7時台、昼12時台、夜21時台の3ヶ所にピークがある。一方、録画番組視聴は、昼15時台に小さなピークと夜22時台に大きなピークがあり、平日夜においても、録画番組が視聴されていることがわかる。

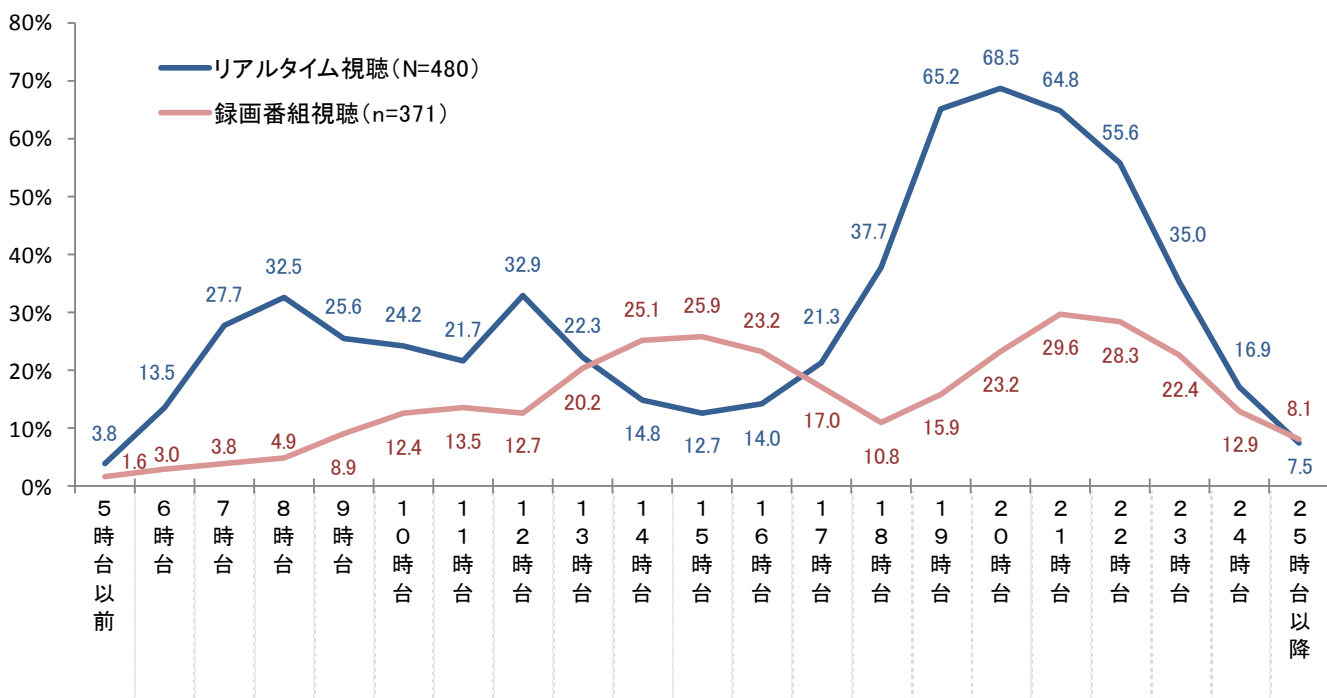
■休日についてみると、リアルタイム視聴が下がる14時台～16時台の時間帯に録画番組視聴が大きく膨らんでいる。休日の14時台～16時台は録画番組視聴が優位になる「録画番組のゴールデンタイム」といえる。

平日に自宅でテレビを観ている時間帯(リアルタイム視聴・録画番組視聴別)

※録画番組視聴(n=371)は、最近3ヶ月以内にテレビ番組の録画をした人 → 以降、すべての表・グラフにおいて同じ



休日に自宅でテレビを観ている時間帯(リアルタイム視聴・録画番組視聴別)

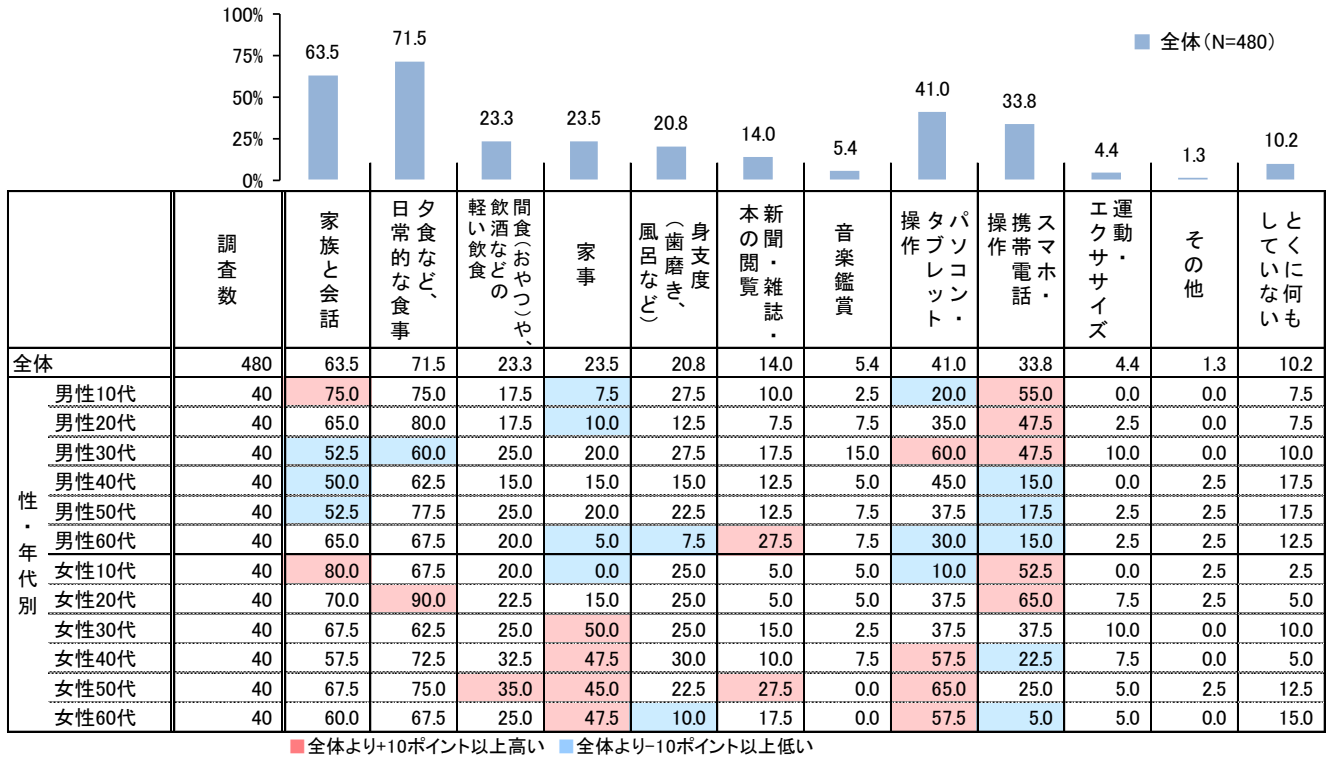


3. テレビを観ているときに、同時にしていること

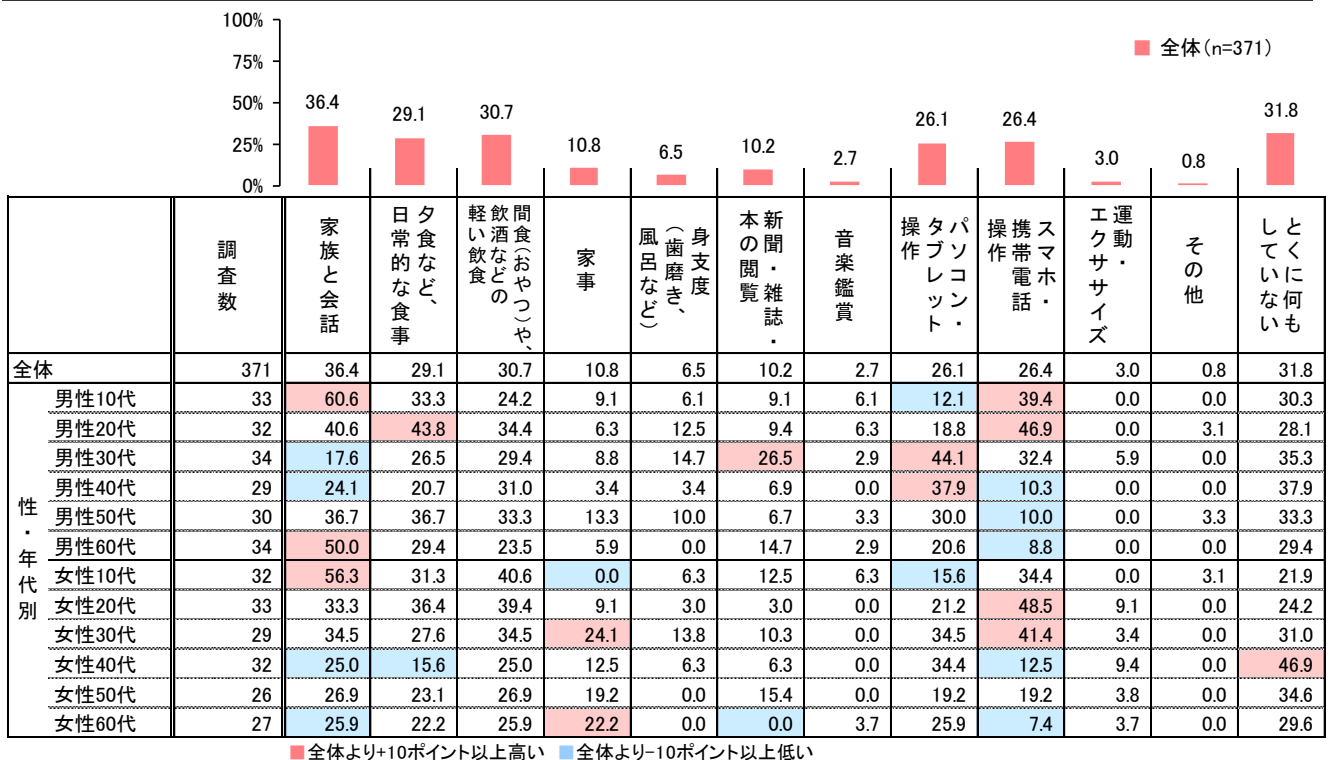
リアルタイム視聴と比較して、録画番組視聴時に同時にしていることは少ない。

- テレビを観ているときに、同時にしていることでは、ゴールデンタイム(GT帯)のリアルタイム視聴では、全体で「夕食など、日常的な職食事」(71.5%)、「家族との会話」(63.5%)、「パソコン・タブレット操作」(41.0%)が上位3項目である。女性30代以上では、「家事」が約5割挙がっている。
- 一方、録画番組視聴時は、「家族との会話」(36.4%)、「とくに何もしてない」(31.8%)、「間食(おやつ)や飲酒などの軽い飲食」(30.7%)が上位3項目である。リアルタイム視聴に比べると、概して同時にしていることが少ない。
- 両方に共通する傾向として、10代~30代は「スマホ・携帯電話操作」が多い。

自宅で、19時台~22時台にリアルタイムでテレビを観ているときに、同時にしていること



普段、自宅で録画したテレビ番組を観ているときに、同時にしていること



4. 「ながら視聴」の集中度

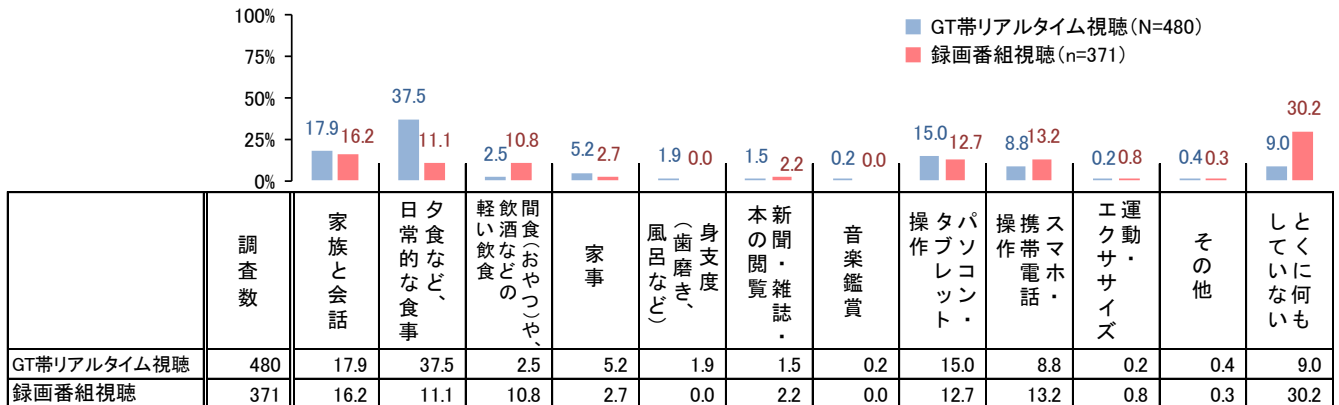
録画番組視聴時の集中度、スマホ・携帯電話操作時でも「集中して見ていることが多い」が57.1%と高い。

■ 自宅でテレビを観ているときに同時にしていることのうち、「最もよく行っていること」は、GT帯リアルタイム視聴では「夕食など、日常的な食事」が37.5%でトップ、一方、録画番組視聴では「とくに何もしていない」が30.2%でトップだった。

■ 「ながら視聴」で「最もよく行っていること」をしているときに、どの程度集中してテレビを見ているかを訊くと、GT帯リアルタイム視聴の全体では「集中して見ていることが多い」は35.4%、録画番組視聴は65.5%と差が大きい。

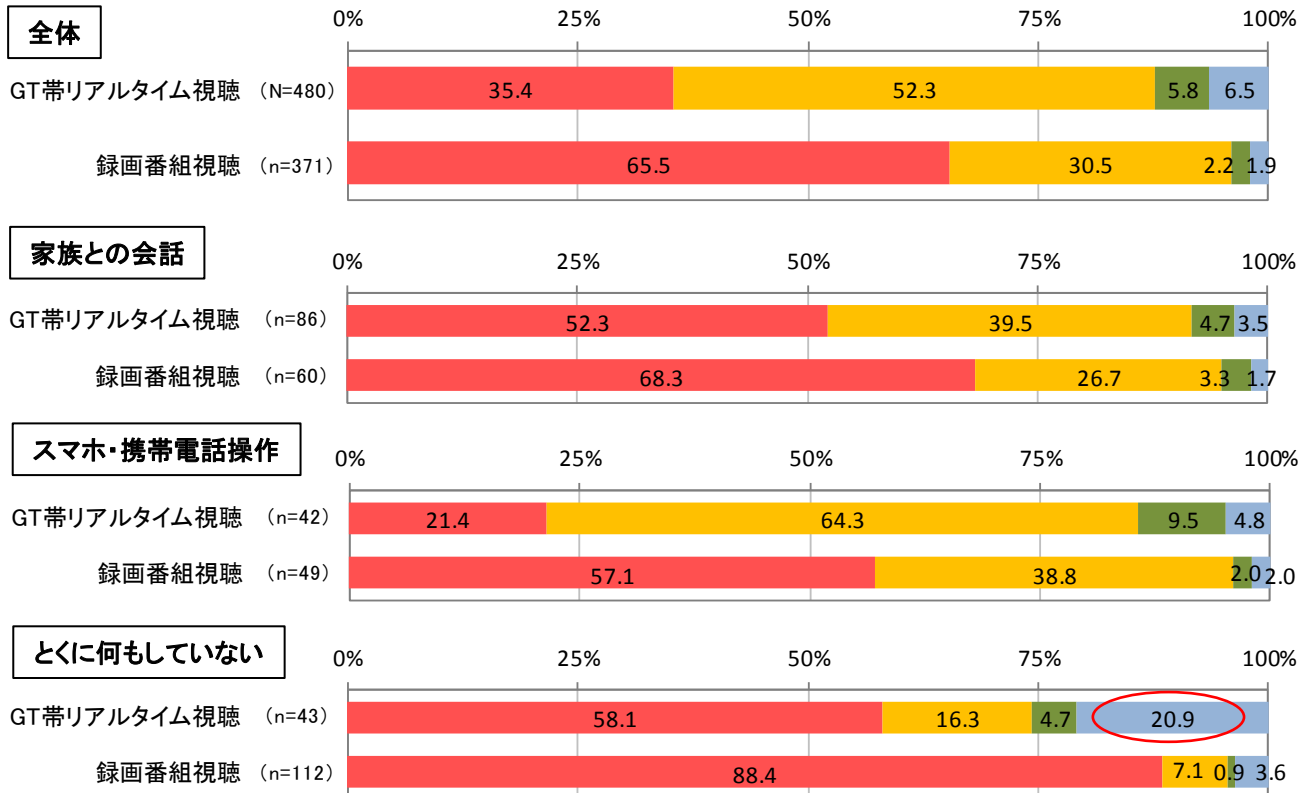
■ 「最もよく行っていること」別にみると、「家族との会話」のようにリアルタイム視聴と録画番組視聴とで、差が小さい項目もあれば、「スマホ・携帯電話操作」のように非常に大きいものもある。また、「とくに何もしていない」では9割近くが集中して見ている録画番組視聴に対して、GT帯リアルタイム視聴では「点けばなしで、耳でもほとんど聞いていないことが多い」が20.9%いる。

自宅でテレビを観ているときに同時にしていることで、「最もよく行っていること」
(GT帯リアルタイム視聴・録画番組視聴別) ※単一回答



自宅でテレビを観ながら「最もよく行っていること」をしているときに、どの程度集中してテレビを見ているか
(最もよく行っていること別※抜粋)

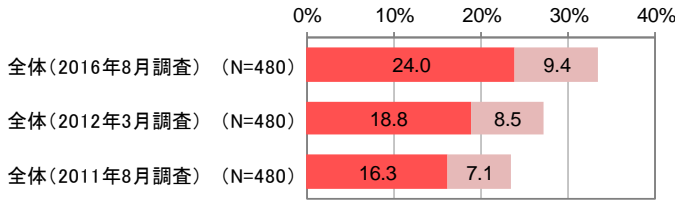
- 1. 集中して見ていることが多い
- 2. 画面をチラチラ見る程度で、耳で聞いていることが多い
- 3. 画面はほとんど見ずに、耳だけで聞いていることが多い
- 4. 点けばなしで、耳でもほとんど聞いていないことが多い



結果① テレビを観ている人の3分の1は録画機能付きテレビを主に使用して録画を行っている

テレビ番組を録画するのに主に利用している機器

- 1. 録画機能内蔵テレビ (HDD 内蔵)
- 2. 録画機能内蔵テレビ (外付けHDD)



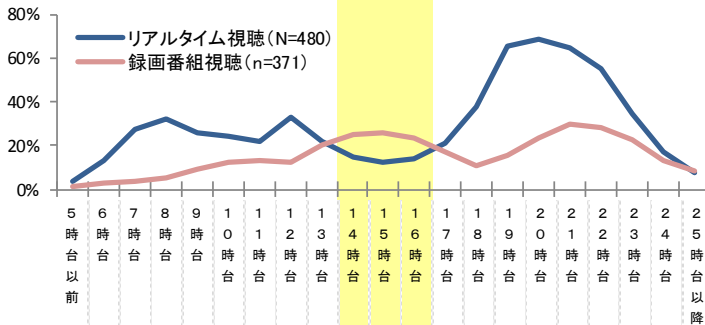
「テレビ番組を録画するのに主に利用している機器」を訊くと、録画機能内蔵テレビが増えてきている。2016年8月段階では、テレビ視聴者の3分の1は録画機能付きテレビを主に使用してテレビ番組の録画を行っている。

また、2016年8月における「DVDレコーダー」「VHSレコーダー」「パソコン」「その他」は、合わせて5%未満と少なくなっている。

一方で、録画頻度は2011年8月から大きく変化はしなかった。

結果② 休日14時台～16時台に存在する、「録画番組のゴールデンタイム」

休日に自宅でテレビを観ている時間帯(リアルタイム視聴・録画番組視聴別)



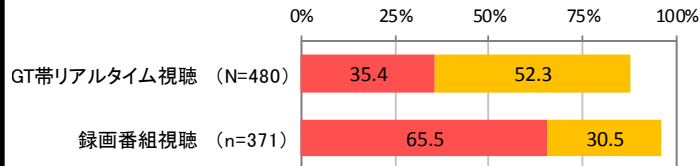
リアルタイムにテレビ番組を観る時間帯は、平日では、朝7時台、昼12時台、夜21時台の3ヶ所にピークがある。録画番組視聴のピークは夜22時台の1ヶ所だけである。

休日の場合、リアルタイム視聴が下がる14時台～16時台の時間帯にも録画番組視聴が大きく増える。休日の14時台～16時台は録画番組視聴が優位になる「録画番組のゴールデンタイム」といえる。

結果③ 録画番組を観ているときの集中度は高い

自宅でテレビを観ながら「最もよく行っていること」をしているときに、どの程度集中してテレビを見ているか

- 1. 集中して見ていることが多い
- 2. 画面をチラチラ見る程度で、耳で聞いていることが多い



リアルタイム視聴時は録画番組視聴時に比べて、「ながら視聴」が多い。また、「ながら視聴」時の集中度も低い。

「ながら視聴」時に、どの程度集中してテレビを見ているかを訊くと、GT帯リアルタイム視聴の場合、52.3%が「画面をチラチラ見る程度で、耳で聞いていることが多い」としている。一方、録画番組視聴では「集中して見ていることが多い」が65.5%である。

録画番組を視聴しているときは、スマホや携帯電話を操作していても57.1%が「集中して見ていることが多い」と回答している。

結果から推測される仮説

■ 主に使う録画機器の変化が確認された一方で、録画頻度は、ほとんど変化していない。テレビ番組の録画のニーズはすでに飽和しており、録画機器が新しくなっているが、録画行動は大きく変わっていないと考えられる。

■ 録画番組を視聴している時間帯は、平日では22時台前後にある。平日のGT帯であっても、録画視聴は多く、リアルタイム視聴率の低下に大きく寄与しているといえる。一方、休日では録画番組視聴が15時台前後と21時台前後に多い。休日の14時台～16時台はリアルタイム視聴が大きく低下している時間帯でもある。この時間帯は深夜帯に比べると、視聴者層が偏っていないため、実験的な番組を放送するにはうってつけではないだろうか。

■ 平日の夜と休日の午後のリアルタイム視聴は、録画視聴によって大きく削られているが、平日の朝や19時台前後の比較的早い時間帯の夜はリアルタイム視聴が卓越している。しかし、リアルタイム視聴時は、集中度が低い「ながら視聴」が多い。耳では聞いている「チラ見」が主となっている。この時間帯のテレビ番組は、音声による情報量を増やすなど、耳を通じて、視聴者の興味を引くことが視聴率維持のために重要だろう。

トピックスリサーチ

テレビ番組の録画に関する
マーケティングデータ
～録画番組視聴時の行動篇～

発行日 2016年 8月 26日

発行・調査分析 朝日大学 マーケティング研究所
〒501-0296
岐阜県瑞穂市穂積1851
TEL : 058-326-1173

お問い合わせ marketing@alice.asahi-u.ac.jp